

## 試験研究成果普及情報

部門	経営	対象	行政・研究・普及
課題名：家畜糞堆肥を選択しない要因			
<p>[要約] 家畜糞堆肥を選択せず、家畜糞堆肥以外の有機物の選択で満足する傾向がある程度認められる。こうした場合、家畜糞堆肥の性状改良や諸条件の改善を行っても、利用拡大に及ぼす効果は限定的と見られる。家畜糞堆肥の利用を促すには、有機物間の競合を意識した上で、家畜糞堆肥の比較有利性を具体的に示す必要がある。</p>			
キーワード（専門区分） 経済構造 （研究対象）農耕地土壌 - 畑 （フリーワード）耕地 有機物 堆肥 家畜糞			
実施機関名（主査） 農業総合研究センター 企画調整部 経営調査室 （協力機関） JAちばみどり （実施期間） 2001年度～2002年度			

### [目的及び背景]

家畜糞堆肥等の資源循環に関する政策の企画立案及び研究開発に貢献するため、家畜糞堆肥非利用者の意識を検討する。

### [成果内容]

1. 県内の露地野菜大規模専業経営(栽培面積2ha以上)及び施設園芸経営(海匠地域キュウリ・イチゴ)へのアンケート調査から、家畜糞堆肥非利用者の意識を調査分析した結果は以下のとおりである。

#### (1)家畜糞堆肥を選択しない理由(表1)

家畜糞以外の有機質資材や緑肥など「他資材で代替可能」という理由と「家畜糞堆肥そのものの性質」に関わる理由が主で、労力や堆肥保管施設の有無など「諸条件の問題」を上げる比率は相対的に低い。「家畜糞堆肥そのものの性質」の具体的内容は、露地では「臭気」、「作物の生育への悪影響」が、施設では、「塩分濃度」、「臭気」、「肥料成分の不明確さ」が主なものである。

#### (2)家畜糞堆肥利用への移行限定性(表2)

ア 今後の家畜糞堆肥利用意向を見ると、「利用する予定はない」が、露地で2割、施設で5割弱あるが、「条件が整えば検討する」という回答が露地で4割弱、施設で2割強あり、「利用する予定がある」という回答も露地と施設キュウリでは1割前後あり、家畜糞堆肥を選択しないことは、完全に固定的な意向ではない。

イ しかし、「条件が整えば検討する」とした回答者の「利用しない理由」を再照合したところ、露地の6割強が「緑肥」、施設キュウリの7割弱が「家畜糞以外の堆肥」、施設イチゴの5割が「家畜糞以外の有機質」または「家畜糞以外の堆肥」によって、それぞれ耕地への有機物施用の対応が可能としており、現状で一応の満足を得ていると考えられる。

2. 以上の調査分析から、以下のことが言える。

(1)「家畜糞堆肥を選択しないこと」と「耕地への有機物を施用しないこと」は同義ではなく、耕種農業者が家畜糞堆肥以外の有機物の選択で満足する場合には、家畜糞堆肥の性状改良や諸条件の改善を行っても、利用拡大に及ぼす効果は限定的と考えられる。

(2)家畜糞堆肥の利用を促すには、有機物間の競合を意識した上で、家畜糞堆肥の比較有利性を具体的に示す必要がある。

### [留意事項]

調査対象の栽培面積2ha以上露地野菜経営は、結果として北総地域が中心となった。

[普及対象地域] 県下全域

[行政上の処置]

[ 普及状況 ]  
 [ 成果の概要 ]

表 1 家畜糞堆肥を選択しない理由

(上段：非利用者全体比：％、下段：順位)

	他の資材で代替可能				家畜糞堆肥の 性質の問題	諸条件の問題				その他
	家畜糞以外の 有機質資材	家畜糞以外の 堆肥	緑肥	化学肥料		労力が かかる	堆肥舎／糞 がない	良い入手先 がない	コスト的に 合わない	
露地野菜 (n=25)	16.0 (1)	20.0 (3)	36.0 (1)	12.0	28.0 (2)	8.0	8.0	4.0	0	4.0
海田キュウリ (n=44)	47.7 (1)	31.8 (3)	4.5	18.2	43.2 (2)	22.7	20.5	9.1	2.3	2.3
海田イチゴ (n=26)	46.2 (1)	42.3 (2)	7.7	3.8	34.6 (3)	15.4	3.8	7.7	0	3.8

(上段：選択該当者全体比：％、下段：順位)

「家畜糞堆肥の性質の問題」の具体的内容

	臭気	作物の生育 への悪影響	雑草種子の 混入	塩分濃度	肥料成分が 不明確	その他
露地野菜 (n=10)	50.0 (1)	50.0 (1)	20.0 (3)	10.0	10.0	10.0
海田キュウリ (n=19)	52.6 (2)	31.6 (3)	26.3	63.2 (1)	21.1	5.3
海田イチゴ (n=9)	11.1 (3)	11.1 (3)	11.1 (3)	66.7 (1)	33.3 (2)	0

表 2 今後の家畜糞堆肥利用に関する意向及び「条件が整えば検討する」とした回答者の「家畜糞堆肥を利用しない理由」

(非利用者全体比：％)

	利用する 予定はない	条件が整えば 検討する	利用する 予定がある	わからない	無回答
露地野菜 (n=25)	20.0	36.0	12.0	28.0	4.0
海田キュウリ (n=44)	45.5	27.3	9.1	15.9	2.3
海田イチゴ (n=26)	46.2	23.1	3.8	26.9	0

(上段：選択該当者全体比：％、下段：順位)

「条件が整えば検討する」とした回答者の「家畜糞堆肥を利用しない理由」の回答内容

	他の資材で代替可能				家畜糞堆肥の 性質の問題	諸条件の問題				その他
	家畜糞以外の 有機質資材	家畜糞以外の 堆肥	緑肥	化学肥料		労力が かかる	堆肥舎／糞 がない	良い入手先 がない	コスト的に 合わない	
露地野菜 (n=9)	62.5 (1)	37.5 (2)	25.0 (3)	12.5	25.0 (3)	0	0	0	0	12.5
海田キュウリ (n=12)	8.3	66.7 (1)	33.3 (3)	8.3	41.7 (2)	33.3 (3)	25.0	16.7	0	8.3
海田イチゴ (n=6)	33.3 (3)	50.0 (1)	50.0 (1)	0	33.3 (3)	16.7	0	0	0	0

[ 発表及び関連文献 ]